

株主の皆さまへ  
2019年度  
中間期  
2019年4月1日～2019年9月30日

みんなのATM。  
みんなのセブン銀行

目次

- 社長メッセージ…………… P1
- トピックス…………… P3
- 業績ハイライト…………… P5
- 連結財務諸表…………… P6
- 会社概要…………… P7
- 大株主の状況
- 株主構成





## 社長メッセージ

株主の皆さまには平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

「セブン-イレブンにATMがあったら便利なのに…」そんなお客様の声をふまえて誕生したセブン銀行は、2001年の開業以来「いつでも、どこでも、だれでも、安心して」ご利用いただけるATMサービスの提供を通じ、安全かつ効率的な決済インフラの構築に努めてまいりました。おかげさまで2019年9月末には、国内ATM設置台数は25,342台となり、1日約230万人のお客様にご利用いただく、生活に無くてはならない社会インフラの一つへと成長いたしました。

私たちは、新たな事業・サービスの創造を通じて「社会課題解決への貢献」と「企業価値向上」に「誠実」かつ「真面目」に取組み、「社会の期待と信頼」に応え、持続的成長の実現に努めてまいります。

代表取締役社長 舟竹 泰昭

## 次世代ATM導入によりデジタル化社会の中で新たな価値提供を追求

当社を取巻く環境は、かつてないスピードで変化しております。このような環境の中、当社が持続的な成長を実現するためには「事業の多角化」が重要だと考え、次代の成長を支える次世代(第4世代)ATMの導入を2019年9月から開始いたしました。

入出金からスタートした当社ATMサービスは、貸付・返済、振込、海外送金、さらには、スマートフォンのみで入出金取引ができる「スマホATMサービス」、口座を介さずに現金を受取れる「ATM受取(現金受取サービス)」、交通系電子マネー等やスマートフォンを介したバーコード決済へのチャージ取引等、お客様のニーズに応える新しいサービスを次々と付加し、従来、金融機関の窓口等に行かなければ受けられない金融サービスをコンビニ

というお客様の生活に身近な場所に持込むことで、金融の「近くて便利」を実現してまいりました。

この間、技術革新により様々なデジタル決済が拡大し利便性を享受する方が増える一方で、金融犯罪の高度化・巧妙化によりセキュリティに不安を感じられる方、また、金融取引や決済の際に実感や安心感を得たいと思っておられる方も増えています。このようなニーズの多様化にお応えするために、全国に25,000台以上あり、高速ネット通信であらゆるものと接続でき、不具合があれば数十分以内に修理を行い再稼働が可能な当社のATMを、これからのデジタル化社会の中で、デジタルとアナログ、あるいはバーチャルとリアルをつなぐ橋渡しとし、金融だけでなく、生活のあらゆる場面において

## 社是

1. 私たちは、お客さまに信頼される誠実な企業でありたい。
2. 私たちは、株主、お取引先、地域社会に信頼される誠実な企業でありたい。
3. 私たちは、社員に信頼される誠実な企業でありたい。

## 経営理念

1. お客さまのニーズに的確に応え、信頼される銀行を目指します。
2. 社員一人一人が、技術革新の成果をスピーディーに取り入れ、自己変革に取り組んでいきます。
3. 安全かつ効率的な決済インフラの提供を通じて、我が国の金融システムの安定と発展に貢献します。

## 倫理憲章(項目のみ抜粋)

1. 銀行の公共性・社会的責任の自覚
2. お客さま第一主義の実践と時代のニーズに合ったより高い利便性の提供
3. 誠実・公正な行動
4. 社会とのコミュニケーション
5. 人間性の尊重

進化させ、お客さまの毎日の生活の中に新たな価値を提供してまいります。

決済口座事業においては、個人向けローンや海外送金サービスなどの既存サービスの利便性向上・収益力強化に加え、新技術を用いた独自サービスの開発に取り組んでおります。

海外事業では、米国セブン-イレブン店舗へ設置したATMの安定稼働と収益・利益への貢献に加え、成長するアジア地域への進出も進めてまいります。

このような取組みの結果、当中間期の連結業績は、経常収益745億円、経常利益201億円となりました。

## 株主の皆さまからのご支援にお応えして

当社では従来より、株主の皆さまへの配当を株主還元の基本方針としてまいりましたが、当中間期では配当(期初計画通り、1株当たり5.5円)に加え、機動的な資本政策の一環として自己株式の取得を行いました。

今後も社会課題の解決と企業の成長を両立させる方針のもと、新たな分野への積極的投資、インフラ事業者としての事業継続に必要なリスクへの備えとバランスを

勘案し、株主の皆さまへの還元を着実に実施してまいります。配当を株主還元の基本とし、配当性向40%以上を最低目標に定め、安定的かつ継続的に維持・拡大を続けることで、株主の皆さまの期待に応えてまいります。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

1

## 顔認証技術やAIなどの新技術を搭載し、社会とお客さまのニーズの変化に対応した『第4世代ATM』

ライフスタイルの変化、スマートフォンの普及、決済手段の多様化など、時代の変化に対応した次世代機「第4世代ATM」の導入を2019年9月より開始いたしました。第4世代ATMは、顔認証による本人確認やバーコード読取りに対応。また、AIを活用した現金の需要予測の高度化や各種部品の故障予測を行い、さらなる運営の効率化を目指します。

できたらいいなを、  
プラスしていく。

第4世代ATMは、未来のイノベーションをみんなのものにするプラットフォーム。  
お客さまの「できたらいいな」をプラスしていくATMとして無限の可能性を秘めています。

### 便利な追加機能

新機能を集約したサブディスプレイ付きの操作エリアを導入



- ・本人確認書類のスキャナー機能
- ・QR\*・バーコードの読取り機能
- ・Bluetoothによるスマートフォンとの通信機能

### 使いやすさの追求

より見やすく、分かりやすく、利便性をさらに向上



- ・プライバシー空間の拡大
- ・大きく見やすいディスプレイ
- ・ユニバーサルデザイン

### 安心・安全の徹底

セキュリティ面での強化はもちろん、社会の持続可能性も見据えて



- ・止まらないATMの実現
- ・セキュリティ対策の強化
- ・環境負荷の低減

\*QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



# 2

## 持続可能な開発目標

### (Sustainable Development Goals:SDGs)の達成に貢献

セブン銀行が大切にしている価値観は、持続可能な社会に向けた「社会課題解決への貢献」と「企業価値向上」の双方の達成に対して「誠実」かつ「真面目」に取り組む、「社会の期待と信頼」に応えていくことです。

その実現に向け、2019年に5つの「重点課題」を策定しました。この5つの「重点課題」に、当社が持つ強みを活かして取り組むことで、持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に貢献します。

#### ● 各重点課題に応じたSDGs達成への貢献

<p><b>1 安心・安全な決済インフラの提供</b></p>   	<p><b>2 新しい金融サービスを通じた生活創造</b></p>  	<p><b>3 誰もが活躍できる社会づくり</b></p>   
<p><b>4 環境負荷の低減</b></p>    	<p><b>5 多文化共生の実現</b></p>   	

社会課題解決への  
貢献と企業価値向上の  
双方を達成

# 3

## 新決済事業者との提携を推進

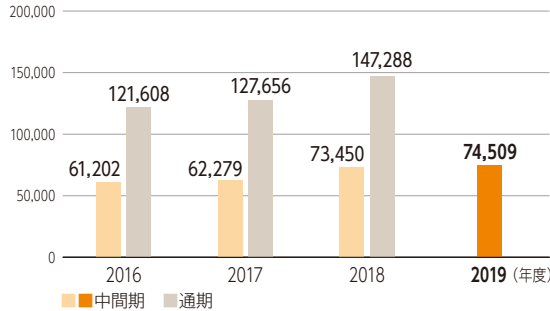
デジタル化、スマートフォンなどの普及により、新たに決済分野へ参入した金融機関以外の提携先と、新規提携を積極的に進めています。キャッシュレス決済の進展に合わせ、リアルな接点であるATMをチャージポイントとして利用するなど、新たな利用スタイルでのATM取引が増加しています。





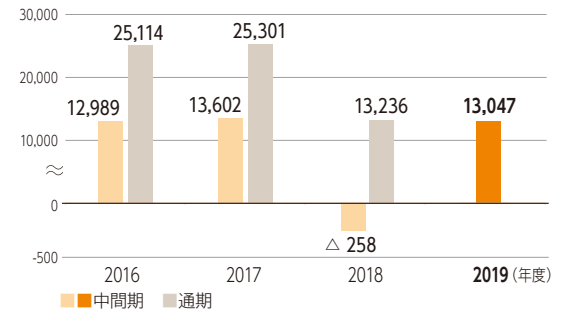
## 収益性 経常収益(連結)

(単位:百万円)



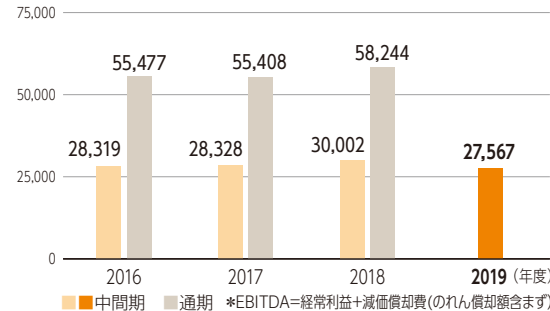
## 収益性 親会社株主に帰属する当期(中間)純利益・純損失(連結)

(単位:百万円)



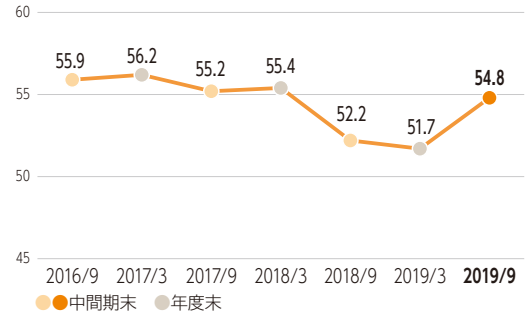
## 収益性 EBITDA(連結)

(単位:百万円)



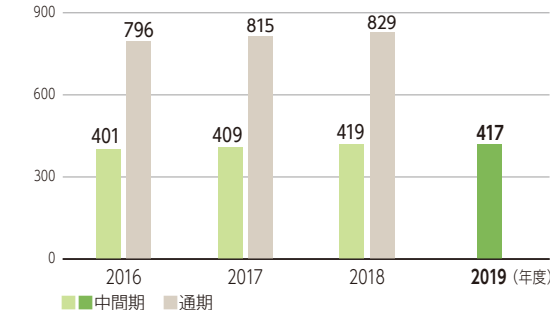
## 健全性 単体自己資本比率(国内基準)

(単位:%)



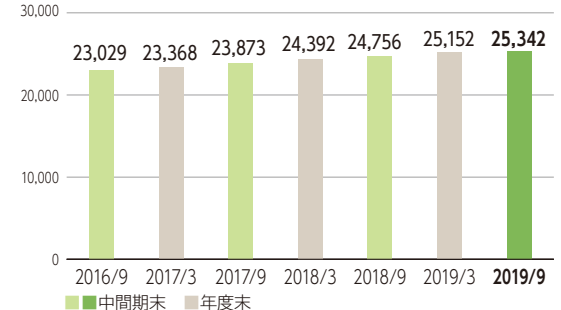
## 事業規模 ATM利用件数の推移(単体)

(単位:百万件)



## 事業規模 ATM設置台数の推移(単体)

(単位:台)





## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	2018年度末 (2019年3月31日)	2019年度 中間期末 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	780,650	825,048
有価証券	85,639	74,471
貸出金	22,688	22,981
外国為替	0	0
ATM仮払金	194,910	98,659
その他資産	15,074	15,641
有形固定資産	15,155	13,649
無形固定資産	26,655	27,278
退職給付に係る資産	444	478
繰延税金資産	732	652
貸倒引当金	△23	△22
<b>資産の部合計</b>	<b>1,141,926</b>	<b>1,078,839</b>
<b>負債の部</b>		
預金	678,664	662,758
譲渡性預金	810	860
借入金	10,000	—
社債	135,000	125,000
ATM仮受金	80,853	48,880
その他負債	22,816	25,135
賞与引当金	537	491
退職給付に係る負債	2	2
役員退職慰労引当金	5	7
株式給付引当金	166	194
繰延税金負債	179	152
<b>負債の部合計</b>	<b>929,036</b>	<b>863,482</b>
<b>純資産の部</b>		
資本金	30,679	30,701
資本剰余金	30,661	30,756
利益剰余金	147,094	149,129
自己株式	△352	△338
<b>株主資本合計</b>	<b>208,083</b>	<b>210,249</b>
その他有価証券評価差額金	492	666
為替換算調整勘定	3,798	3,665
退職給付に係る調整累計額	182	170
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>4,473</b>	<b>4,502</b>
新株予約権	320	276
非支配株主持分	11	328
<b>純資産の部合計</b>	<b>212,890</b>	<b>215,357</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>1,141,926</b>	<b>1,078,839</b>

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	2018年度中間期 (自 2018年4月 1日 至 2018年9月30日)	2019年度中間期 (自 2019年4月 1日 至 2019年9月30日)
<b>経常収益</b>	<b>73,450</b>	<b>74,509</b>
資金運用収益	1,770	1,774
（うち貸出金利息）	1,716	1,717
（うち有価証券利息配当金）	9	12
役務取引等収益	70,996	72,553
（うちATM受入手数料）	67,421	68,714
その他業務収益	135	127
その他経常収益	548	53
<b>経常費用</b>	<b>52,725</b>	<b>54,363</b>
資金調達費用	330	355
（うち預金利息）	62	54
役務取引等費用	18,980	20,519
（うちATM設置支払手数料）	14,821	15,717
（うちATM支払手数料）	2,089	2,641
営業経費	33,249	30,424
その他経常費用	165	3,064
<b>経常利益</b>	<b>20,725</b>	<b>20,145</b>
<b>特別利益</b>	<b>—</b>	<b>48</b>
固定資産処分益	—	48
<b>特別損失</b>	<b>14,678</b>	<b>42</b>
固定資産処分損	81	42
減損損失	14,596	—
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>6,047</b>	<b>20,151</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>6,844</b>	<b>7,115</b>
<b>法人税等調整額</b>	<b>△ 531</b>	<b>△ 13</b>
<b>法人税等合計</b>	<b>6,312</b>	<b>7,102</b>
<b>中間純利益又は中間純損失(△)</b>	<b>△ 264</b>	<b>13,049</b>
<b>非支配株主に帰属する中間純利益又は 非支配株主に帰属する中間純損失(△)</b>	<b>△ 6</b>	<b>1</b>
<b>親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)</b>	<b>△ 258</b>	<b>13,047</b>





## 会社概要 (2019年9月末現在)

- **名 称** 株式会社セブン銀行  
(英名: Seven Bank, Ltd.)
- **本 社 所 在 地** 東京都千代田区丸の内1-6-1
- **設 立** 2001年4月10日
- **開 業** 2001年5月7日
- **資 本 金** 30,701百万円
- **発行済株式数** 1,179,122千株
- **従 業 員 数** 471人  
(役員、執行役員、パート社員、  
派遣スタッフを除く)

## 主な連結子会社

- **FCTI, Inc.** (アメリカ合衆国)  
事業内容: ATMサービス
  - **PT. ABADI TAMBAH MULIA INTERNASIONAL** (インドネシア共和国)  
事業内容: ATMサービス
  - **株式会社バンク・ビジネスファクトリー** (日本)  
事業内容: 事務受託サービス
  - **株式会社セブン・ペイメントサービス** (日本)  
事業内容: 送金・決済サービス
  - **株式会社ACSiON** (日本)  
事業内容: セキュリティ等のサービス
  - **Pito AxM Platform, Inc.** (フィリピン共和国)  
事業内容: ATMサービス
- (他1社、計7社)



## 大株主の状況 (2019年9月末現在)

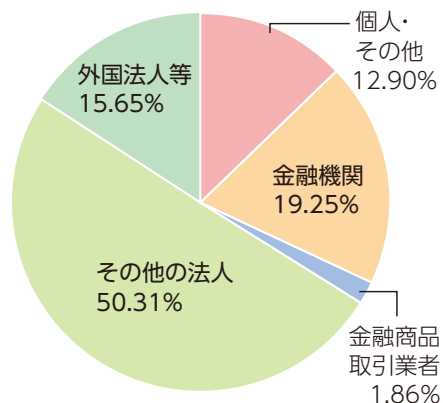
株主名	所有株式数	持株比率
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	453,639千株	38.47%
株式会社イトーヨーカ堂	46,961千株	3.98%
株式会社ヨークベニマル	45,000千株	3.81%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	37,568千株	3.18%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	34,349千株	2.91%
株式会社三井住友銀行	15,000千株	1.27%
第一生命保険株式会社	15,000千株	1.27%
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM44	14,493千株	1.22%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	13,993千株	1.18%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	13,258千株	1.12%

※1 所有株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

※2 持株比率は小数点第3位以下を切捨てて表示しております。



## 株主構成 (2019年9月末現在)



※小数点第3位以下を切捨てて表示しております。



最新のお知らせやセブン銀行の紹介、  
IRに関するお知らせなどがご覧いただけます。  
<https://www.sevenbank.co.jp/ir/>



**UD FONT**  
by MORISAWA

